

市民の力、もっと輝く街を目指して

新たなまちづくりが

スタート

Mayor Interview 市長インタビュー



札幌市長 上田 文雄

これからの市政運営の基本となる計画
「第2次札幌新まちづくり計画」と「行財政改革プラン」が
完成しました。今回は市長へのインタビューを交えて
計画の内容について紹介します。

今までも、これからも 素晴らしい札幌は市民がつくる

就任当初からこれまでを振り返っていかがですか。

市長になった当初、少子高齢化や景気の低迷、厳しい財政状況など、札幌には深刻な問題が山積していることを実感しました。こうした難しい局面を乗り切るためには、**市役所の仕事の仕方を変えていく**必要があると思いました。

具体的には？

限られたお金を有効に使うためには、「**本当に必要な政策は何なのか**」という選択が必要で、そしてその選択を行うのは、言うまでもなく市民の皆さんです。

こうした考えから、私は「市民が自分たちの街のことに

ついて考え、行動する」という「市民自治」を市政運営の根本に据えるべきと考えました。市役所は、市政について考え、提供する情報、さまざまな機会をとらえて**市民の意見を聞く**ことに、最大限の努力を払う。市民の活動を後押ししていかねばならない。そう職員にも訴えてきました。市民活動の広がり、広報紙などを通じた意見募集、自治基本条例の制定など、この考え方は着実に形になって現れてきています。

市政運営の軸となる、二つの計画が完成しましたが、

「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街・札幌」の実現のため、具体的に取り組んでいく事柄をこの二つの計画にまとめました。

「第2次札幌新まちづくり計画」では、皆さんからの意

見などを踏まえ、優先的に実施する事業を定めるとともに、すべての事業について達成目標を掲げています。「**行財政改革プラン**」では、厳しい財政状況を乗り切り、無駄のない効率的な**市役所**へと改革していくための、具体的な方法を盛り込んでいます。これらの計画も、市民の皆さんから意見をいただきながら完成させました。

最後に、市民に向けてメッセージを。

計画は完成しましたが、これはあくまでもスタート。これから精いっぱい努力し、市民の皆さんと共に計画を実行することをお約束します。

私を含め札幌市民の力を一つにして、この素晴らしい札幌をさらに輝かせようではありませんか。世界から評価され、誇りに満ちた今の札幌をつくった先人たちのように！

第2次札幌新まちづくり計画

たくさんのご意見が寄せられました！

計画の素案について、本誌10月号などで意見を募集したところ、合計379件の意見が寄せられました。その一部と、意見に対する市の考え方を紹介します。

【福祉】

意見 敬老パスの上限度引き上げは平成二十年度からぜひ実現してほしい。
市 「市民や交通事業者の理解を得て、議会での議論を経る時間が必要なため、実施は平成二十一年度を目指しています」

【環境】

意見 ごみ収集を有料化する前に、個人個人がごみを減量できるような対策を取るべきでは。
市 「市では、雑がみの分別や古紙などの拠点回収の充実など、市民が取り組めるごみ減量手段を拡充させた上で、その効果を最大限に高めるために、家庭ごみ収集の有料化を同時に実施することを提案しています」